

A new species of the genus *Mauremys* (Testudines: Geoemydidae) from the upper Pleistocene of Miyakojima Island, Ryukyus Archipelago, Japan

琉球列島、宮古島の上部更新統から発見されたイシガメ属（カメ目: イシガメ科）の一新種

著者: 高橋亮雄・大塚裕之・太田英利

雑誌の情報: Current Herpetology、34巻2号、149-163、2015年



太田英利

■ 論文の内容

南琉球の宮古島にある後期更新世（数万年前）の洞窟堆積物より得られた3点の化石にもとづき、新たに絶滅種ミヤコイシガメ（*Mauremys oshiroi*）を記載しました。これらの標本のうち2点は、先行研究では暫定的に、琉球列島内では八重山諸島のみに現生するミナミイシガメのものと同定されていました。これら既報の標本、ならび今回初めて報じられる追加標本を詳しく調べたところ、このカメは実際には、日本本土や北琉球の現生種ニホンイシガメ、そして日本本土の中期更新統から知られている絶滅種ヤベイシガメに最もよく似ているものの、それら2種とも複数の形態形質に違いがあり、従って未記載種であることがわかりました。今回の発見は宮古諸島の陸生動物相における固有性の過小評価を正しています、

■ 研究員から一言！

現在見られる陸生動物相が貧弱なため、数十万年前に一度海没し、固有の動物は一掃されてしまった、などとまことしやかに語られてきた宮古島。今回の新種の発見は、宮古島の海没説に一石を投じる、学術的に特に意義深いものだと思います。